てきおう たいせつ
「適応し、大切にすること。」

Hernandez John Gian Montallana

(ヘルナンデス ジョン ジャン モンタリヤナ)

しゅっしんち

出身地：フィリピン

にほん き わたし にほんご にほんぶんか まった し さいしょ あつとう きんちょう
日本に来たとき、私は日本語も日本文化も全く知らず、最初は圧倒され緊張してしまし
た。しかし、時間が経つにつれて、私は日本の文化や考え方に触れ、貴重な知識を得て成
ちよう
長することができました。

さいしょ あたら かんきよう てきおう むずか おも みし くに
最初は、新しい環境に適応するのはとても難しいだろうと思っていました。見知らぬ国
での生活は、不安や緊張でいっぱいでした。フィリピンでよく行っていた場所やいつも一緒
にいた人々が恋しく、私は本当に日本でやっていけるのか自信がありませんでした。言葉の
かべ ぶんか ちが ささい おお ちょうせん かん しっぱい おそ
壁や文化の違いのために、些細なことさえ大きな挑戦に感じました。失敗を恐れ、すべて
たい ふあん かん まいにち つか いちじつ さいしょ ほか ひと せつ
に対して不安を感じ、毎日がただ疲れる一日でした。最初は他の人とどう接すればいいのか
わからず、家族と一緒にない限り、ほとんど外に出ませんでした。毎日が新しい挑戦で、
つね わたし なや にほん ぶんか
常に「私はちゃんとやっているのだろうか？」と悩んでいました。フィリピンと日本の文化
のおお ちが とまど じゅうよう ぎもん じぶん な にほん せいかつ てきおう
の大きな違いに戸惑い、ある重要な疑問を自分に投げかけました。「日本の生活に適応する
ためには、フィリピンで学んだ価値観や伝統を忘れなければならないのか？」と。しかし、
じかん た ちが き いま がっこう ほか くに き
時間が経つにつれ、それは違うと気づきました。今の学校で、他の国から来たクラスメート
がいこくじん せんばい で あ かれ まわ てきおう み
や外国人の先輩たちと出会い、彼らがどのように周りに適応しているのかを見たことで、そ
こた み
の答えが見えてきたのです。

とく ちゅうもく れいぎただ たしや はいりよ にほんじん ふか けいせい せいしん たと
特に注目したのは、礼儀正しさと他者への配慮でした。日本人の深い敬意の精神- 例えば、
じぎ けいご つか はな にちじょうせいかつ おも たいせつ おし
お辞儀することや敬語を使って話すこと- は、日常生活での思いやりの大切さを教えてく
れました。もちろんフィリピンにも敬語はあります。でもフィリピンの人々は、もっと親密
かぞく きずな たいせつ ひと ひと きよりかん にほんじん ちか にほんじん
さや家族との絆を大切にします。人と人との距離感が日本人より近いのです。日本人はフ
ひと ひと かんけい きより おも がいこくじん せんばい
ィリピンより人と人との関係に距離があると思っていたのです。ところが、外国人の先輩た
しつれい ちい まわ ひとびと たい
ちは、「ありがとうございます。」「失礼しました。」と、小さなことでも、周りの人々に対す
かんしゃ きも いだ あいて つた れいぎ けいご
る感謝の気持ちを抱いて相手に伝えていました。礼儀や敬語は、かたくるしい、むずかしい
おも まわ ひとびと かんけい よ まな
とと思っていましたが、こうしたことが周りの人々との関係を良くしていくということを学び
ました。

このことは私の考え方を変えました。文化の違いは恐れるものではなく、むしろ受け入れるべきものであることを教えてくださいました。どちらかを選ぶ必要はなく、両方の文化を尊重し受け入れることができる学びました。そうすることで、より豊かで充実した経験ができるのです。日本で新しい経験をしながら学び続け、フィリピンでの思い出や価値観を大切にすることで、私は一つの国を選ぶのではなく、両方を大切にできるのだと気づきました。両方の文化を体験することで、私はより柔軟な考え方を身につけました。私の価値観や視野は広がり、共感力やコミュニケーション能力が自然に向上しました。日本の文化を学ぶことは、私の人生に新たな理解をもたらすとともに、自分の文化を大切にする方法も教えてくださいました。私は両方の文化のバランスを見つけました。私の経験を分ける必要はなく、両方の文化を受け入れることで人生をより豊かにできることに気づきました。日本での2年間を振り返ると、異なる文化を体験することは、私の視野を思っていた以上に広げてくれたことに気づきます。最初感じた不安や混乱、孤独は、すべて私の成長に必要なものでした。私が直面した挑戦は、適応できるようになり、学ぶことができ、両方の文化を大切にできる自分を作り上げました。かつて恐れていた変化は、今ではかけがえのない経験となりました。私は、そのすべてに感謝しています。